

## 金属学会セミナー

### 構造材料の元素戦略

[協賛予定] エネルギー資源学会, 金属材料研究開発センター, 素形材センター, 資源・素材学会, 自動車技術会, 軽金属学会, 日本鑄造工学会, 日本自動車工業会, 日本塑性加工学会, 日本鉄鋼協会, 日本チタン協会, 日本材料学会, 日本材料科学会, ステンレス協会, 日本アルミニウム協会, 軽金属製品協会, 未踏科学技術協会, 日本ガスタービン学会, 日本機械学会, 日本MRS, 日本物理学会, 日本化学会

希少元素資源の枯渇・偏在問題はこれまで主に磁性材料や触媒材料などの機能材料において喫緊の課題として議論されてきたが、実はその使用量が膨大な構造材料においても重要な課題である。この問題の克服のために、材料組織形成・相安定性や力学機能発現における各希少元素の役割を実験・理論の両面から明確にし、さらにそれをユビキタスな元素や微細組織制御で代替するための新たな材料設計原理の確立が急がれる。

本セミナーでは構造材料に用いられる元素の近未来資源リスクと、10～20年後の我が国の材料技術の優位性確保に資する元素戦略的な視点に立った各種構造材料設計に関する最新の研究動向を解説する。

(企画世話人 物質・材料研究機構 土谷浩一, 大村孝仁、東北大 古原 忠)

日時 2013年1月23日(水) 10:00～16:30

場所 エッサム神田ホール 3階大会議室 301 (東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2)

募集定員 100名

受講料

受講資格	事前申込	当日申込
正員	12,000	15,000
学生	5,000	6,000
非会員	15,000	20,000

(本会維持員会社社員、協賛学協会会員は会員扱い。学生は会員、非会員の区別なし)

申込要領 E-mailで [meeting@jim.or.jp](mailto:meeting@jim.or.jp) 宛お申し込み下さい。申込項目は以下のとおりです。

① 送信 subject に「**セミナー構造材料の元素戦略**」と記入、② 氏名・年齢、③ 会員・非会員・学生の区別(本会会員は会員番号も)④ 勤務先・所属、⑤ 通信先住所(テキスト等送付先と電話番号)申込受理確認のE-mailを返信します。

事前申込締切 **2013年1月11日(金) 着信**

テキストの送付 開催10日前後までに発行送付の予定です。事前に申し込まれた方にはテキストが出来次第参加証等関係資料とともにお送りいたします。

受講料払込方法 お申込受理後、請求書と振替用紙を送付いたします。

問合せ 〒980-8544 仙台市青葉区一番町1-14-32 フライハイトビル2階

(社)日本金属学会 セミナー参加係

E-mail: [meeting@jim.or.jp](mailto:meeting@jim.or.jp) TEL 022-223-3685 FAX022-223-6312

10:00～10:50 資源リスクの新段階と構造材料 物質・材料研究機構 原田幸明

10:50～11:40 鉄鋼材料の元素戦略:産業界ニーズに応えるための元素機能の解明  
物質・材料研究機構 津崎兼彰

11:40～12:10 京都大学構造材料元素戦略研究拠点について 京都大学 田中 功

12:10～13:10 -昼 食-

13:10～13:50 フェライト鋼における固溶元素の機能と溶質原子間相互作用:基礎と新知見  
大阪府立大学 沼倉 宏

13:50～14:30 フェライト系耐熱鋼における析出物制御の重要性と元素の役割  
物質・材料研究機構 澤田浩太

14:30～14:50 -休 憩-

14:50～15:40 第一原理計算を活用したアルミニウム系構造材料の元素戦略的材料設計  
大阪府立大学 東 健司

15:40～16:30 チタン合金の低コスト化元素戦略と製造プロセス 東北大学 新家光雄